

第64回日本西洋史学会大会プログラム

日程：2014年5月31日（土）・6月1日（日）

会場：立教大学池袋キャンパス

第1日目：5月31日（土）

11:00-11:30 東/西日本懇談会（12号館地下会議室）

11:30-12:00 理事校会議（12号館地下会議室）

12:30- 受付開始（11号館1階ロビー）

14:00-17:15 公開講演（タッカーホール）

14:00-15:30 樺山紘一（印刷博物館館長）

「印刷文化とヨーロッパ史の交線」

15:45-17:15 鶴島博和（熊本大学教授）

「ヨーロッパ形成期におけるイングランドと環海峡世界の「構造」と展開」

17:15- 総会（タッカーホール）

18:00-20:00 懇親会（第一食堂）

第2日目：6月1日（日）

8:30- 受付開始（11号館1階ロビー）

シンポジウム（11・15号館3階）

午前の部 9:00-12:00 B1、C1、D1

午後の部 14:30-17:30 B2、C2、D2

M301 A：古代地中海世界における聖域と社会（報告 9:00～12:30、討論 16:00～17:30）

M302 B1：回路としての教皇座—13世紀ヨーロッパにおける教皇の統治

B2：ヨーロッパ境界地域の歴史的経験とパトリア／市民権

A301 C1：ヨーロッパ・ユダヤ人問題の波及—「ユーラシア現代史」への視座

C2：動乱時代前後のロシア

A304 D1：北大西洋海域の船をめぐる文化空間と海民のリテラシー 海を飼い馴らすために

D2：「移民」概念の再検討とグローバル・ヒストリー

ポスターセッション（10号館）

12:30～14:30（古代Ⅰ・Ⅱのみ 13:00～15:00）

X201 古代Ⅰ **X202** 古代Ⅱ **X206** 中世Ⅰ **X207** 中世Ⅱ **X208** 近世Ⅰ **X209** 近世Ⅱ

X301 近代Ⅰ **X302** 近代Ⅱ **X306** 現代Ⅰ **X307** 現代Ⅱ

シンポジウム報告一覧

A：古代地中海世界における聖域と社会

9:00-9:05 趣旨説明：浦野聡（立教大学）

9:05-9:35 上野慎也（共立女子大学）

「郊外 – 古典期のアテナイ」

9:35-10:05 中尾恭三（大阪経済法科大学）

「ヘレニズム時代における聖域の活用 – 冠付競技会の普及と広域ネットワーク」

10:05-10:10 技術的質問 1

10:10-10:40 藤井崇（京都大学）

「ローマ帝国東方地域における聖域と社会」

10:40-11:10 中川亜希（東京大学）

「古代ローマ西方の聖域と社会」

11:10-11:15 技術的質問 2

11:15-11:45 田中創（東京大学）

「ローマ帝政後期の神殿利用 – 州民と官吏の相互作用」

11:45-12:15 奈良澤由美（東京大学）

「南ガリアのキリスト教聖堂における典礼空間と埋葬」

12:15-12:20 技術的質問 3

（昼食・ポスターセッションのため中断）

16:00-17:30 討論

司会：師尾晶子（千葉商科大学）、阪本浩（青山学院大学）、志内一興（中央大学）

後藤篤子（法政大学）、浦野聡

B1：回路としての教皇座－13世紀ヨーロッパにおける教皇の統治

9:00-9:05 趣旨説明・司会：千葉敏之（東京外国語大学）

9:05-9:35 菊地重仁（東京大学）

「アルプス以北における教皇の権威と教皇文書の影響力：
初期中世における基盤形成とその後の展開」

9:35-10:05 藤崎衛（東京大学）

「教皇使節と教皇のペルソナ」

10:05-10:35 千葉敏之

「教皇の地理的身体」

10:35-11:05 池上俊一（東京大学）

「想像界の中の教皇」

11:10-11:25 コメント1：草生久嗣（大阪市立大学）

11:25-11:40 コメント2：加藤玄（日本女子大学）

B2：ヨーロッパ境界地域の歴史的経験とパトリア／市民権

14:30-14:45 篠原琢（東京外国語大学）

「複合的パトリアから全体論的ネーションへ－近世から現代への見直し」

14:45-15:15 小山哲（京都大学）

「ポーランド・リトアニア共和国における「市民」概念と公共性」

15:15-15:45 篠原琢

「祖国をめぐる変奏曲－ベーメン・ドイツ人歴史協会における歴史の再構成」

16:00-16:30 吉岡准（津田塾大学）

「戦後ポーランド領土の創造と想像－国境線移動・強制移住・引き揚げ－」

16:30-17:00 鈴木健太（日本学術振興会）

「社会主義ユーゴスラヴィアにおける「ナロード」－1980年代末の大衆運動とナショナリズム」

C1：ヨーロッパ・ユダヤ人問題の波及 「ユーラシア現代史」への視座

9:00-9:05 趣旨説明：高尾千津子（東京医科歯科大学）

9:05-9:45 高尾千津子

「内戦期ロシア極東の「ユダヤ人問題」と反ユダヤ主義」

9:45-10:25 鶴見太郎（埼玉大学）

「ロシア・シオニズムの亡命 -ハルビンにとどまったシオニスト」

10:25-11:05 中嶋毅（首都大学東京）

「ロシア・ファシスト党の形成と拡大 -ハルビンの事例から」

11:05-11:45 野村真理（金沢大学）

「満州——ロシア人・ユダヤ人・日本人の交錯」

司会：小森宏美（早稲田大学）

C2：動乱時代前後のロシア

14:30-14:35 趣旨説明・司会：豊川浩一（明治大学）

14:35-15:00 宮野裕（岐阜聖徳学園大学）

「ミハイル・ロマノフ治世下における権力の継承の正統化」

15:00-15:25 中澤敦夫（富山大学）

「動乱時代の歴史家の君主観」

15:50-16:15 草加千鶴（創価大学）

「中世ロシアにおける宣誓と神判」

16:15-16:40 三浦清美（電気通信大学）

「宗教戦争としてのスムータ - 環バルト海圏の宗教的寛容と不寛容」

16:40-16:50 コメント1：浅野明（山形大学）

16:50-17:00 コメント2：皆川卓（山梨大学）

17:00-17:30 質疑応答

D1：北大西洋海域の船をめぐる文化空間と海民のリテラシー 海を飼い馴らすために

趣旨説明・司会：田中きく代（関西学院大学）

9:00-9:15 田中きく代

「総論」

9:15-9:40 阿河雄二郎（関西学院大学）

「ナポレオン時代の奴隷貿易 利潤と情報」

9:40-10:05 笠井俊和（名古屋外国語大学）

「18世紀アメリカにおける海運・船乗り・情報」

10:05-10:30 金澤周作（京都大学）

「遭難する船をめぐるリテラシー ―近代イギリスの難破譚を手掛かりに」

10:30-10:40 コメント1：布留川正博（同志社大学）

10:40-10:50 コメント2：佐保吉一（東海大学）

D2：「移民」概念の再検討とグローバル・ヒストリー

14:30-14:35 趣旨説明・司会：北村暁夫（日本女子大学）

14:35-15:05 青木恭子（富山大学）

「帝政ロシア国内移住者の移動の論理と移住政策 ―移住者の出身地と入植地の分析から」

15:05-15:35 平野奈津恵（日本女子大学）

「19世紀フランスにおけるベルギー移民と差異の創出 ―北仏炭鉱都市の事例をてがかりに」

15:35-16:05 崎山直樹（千葉大学）

「アイルランド移民ネットワークの形成と土地戦争 ―反帝国意識と女性運動の共鳴」

16:05-16:35 田中ひかる（大阪教育大学）

「ロシア出身のユダヤ系移民アナキストによるアメリカ合衆国における活動 1905～1920」

16:35-17:05 篠田徹（早稲田大学）

「I.W.W を通して見たトランス・パシフィック運動史」

ポスターセッション報告一覧

13:00-15:00 古代 I 司会：周藤芳幸（名古屋大学）

13:00-13:10 師尾晶子（千葉商科大学）

「デロス同盟期アテナイの外交政策 ―ポリス顕彰碑文からの考察」

13:10-13:20 竹尾美里（中京大学）

「前 4 世紀アテネの対エーゲ海外交

―アテネとデロス間のプロクセノス付与を中心に―」

13:20-13:30 青木真兵（関西大学）

「属州サルデーニャにおけるフェニキア・カルタゴ文化について」

13:30-13:40 田邊有亮（青山学院大学・院）

「神々の貨幣図像にみる諸帝の治世 ―元首政初期―」

13:40-13:50 大谷哲（日本学術振興会）

「デキウス迫害における供儀執行証明書発行の意図 ―執行証明書パピルス史料の分析から―」

13:50-14:00 江添誠（慶應義塾大学）

「ポンペイウス劇場とガダラの北劇場の関連性」

14:00-14:10 向井朋生（カミーユ・ジュリアン・センター）

「もっと光を！

～紀元後 79 年 10 月 24 日直前のポンペイー街区における照明器具の観察～」

13:00-15:00 古代Ⅱ 司会：桑山由文（京都女子大学）

13:00-13:10 堤亮介（大阪大学・院）

「元首政期ローマにおける「都市の健全性」

13:10-13:20 長谷川敬（日本学術振興会）

「後 2~3 世紀ガリア・ゲルマニアとブリタンニア間の交易を担った商人たち」

13:20-13:30 反田実樹（法政大学・院）

「古代ローマ帝政期の製粉施設 –トラステヴェレ地区を中心に–」

13:30-13:40 浦野聡（立教大学）

「ローマ時代史料の中の数字 –穀物供給とアフリカ経済の事例から」

13:40-13:50 小林詩織（香蘭女学校）

「いわゆる“N 文書”について –古代末期の司法行政とエジプト社会」

13:50-14:00 紺谷由紀（東京大学・院）

「法文史料にみるローマ帝政後期の宦官」

14:00-14:10 林俊明（フランシュ・コンテ大学・院）

「アウレリウス・ウィクトル『皇帝伝』42 章 24~25 節の意味 –人物同定と執筆意図を通して–」

14:10-14:20 小坂俊介（東北大学）

「コンスタンティノーブルのソクラテス著『教会史』の典拠は何か？

–『教会史』におけるアンミアヌス・マルケリヌス著『歴史』の利用を中心に–」

14:20-14:30 佐藤彰一（名古屋大学）

「オドアケル再考」

12:30-14:30 中世Ⅰ 司会：山田雅彦（京都女子大学）

12:30-12:40 多田哲（中京大学）

「ヨーロッパ中世の民衆教化と聖人崇敬

ーカロリング時代のオルレアンとリエージュ」

12:40-12:50 仲田公輔（東京大学・院）

「9世紀後半から10世紀初頭におけるビザンツ帝国の東方辺境政策」

12:50-13:00 居阪僚子（東京大学・院）

「中世アラニアの教会遺跡」

13:00-13:10 浜田華練（東京大学・院）

「12世紀ギリシア＝アルメニア教会合同計画におけるネルセス・シュノルハリの交渉と護教論」

13:10-13:20 高橋謙公（早稲田大学・院）

「中世後期地中海世界にみる「境域」シチリア」

13:20-13:30 纒田宗紀（東京大学・院）

「13世紀における教皇特使ミッションの一断章：特使ガイドを中心に」

13:30-13:40 古川誠之（早稲田大学）

「中世ヨーロッパの印章に見る「船としての都市」」

13:40-13:50 押尾高志・野村嗣（千葉大学・院）

「残存する「伝統」：古代イタリアと近世スペインにおける改宗」

12:30-14:30 中世 II 司会：鈴木道也（東洋大学）

12:30-12:40 池野健（東北大学・院）

「15世紀フランドル都市の儀礼、祝祭文化と「修辞家集団」の発達」

12:40-12:50 原口碧（お茶の水女子大学・院）

「15世紀フランスにおける仮装の踊り「モーリスク」の流行」

12:50-13:00 神谷貴子（名古屋大学・院）

「中世後期フリブールにおける市民層」

13:00-13:10 古城真由美（福岡大学）

「15世紀イングランドにおけるジェントリ女性による一家の防衛」

13:10-13:20 横川大輔（札幌国際大学）

「国王ジギスムントの二度目の国王選挙（1411年）と「金印勅書」」

13:20-13:30 中田恵理子（京都大学・院）

「中世後期ドイツにおける大学・学識者と都市行政」

13:30-13:40 井上周平（ボン大学）

「近世ドイツにおける瀉血の理論と実践」

13:40-13:50 中堀博司（宮崎大学）

「ヴァロワ家ブルゴーニュ公フィリップ・ル・ボンの遺言書」

12:30-14:30 近世 I 司会：那須敬（国際基督教大学）

12:30-12:40 加藤喜之・小澤実（東京基督教大学・立教大学）

「国家・論争・知識人

—17世紀デンマーク王国とネーデルラント共和国におけるテキスト生成に関する比較考察—」

12:40-12:50 山根明大（立教大学・院）

「『リチャード2世の生涯と死』と初期近代イングランドの政治思想の急進化：

リチャード2世＝「コモンウェルス」の破壊者という言説を巡って」

12:50-13:00 武田和久（秀明大学）

「名誉革命後の長老教会による組織改革構想」

13:00-13:10 齊藤豪大（埼玉大学・院）

「スウェーデン重商主義者による塩輸入問題への関心

—アンデルス・ノルデンクランツを事例に—」

13:10-13:20 谷藤智弘（立教大学・院）

「ハノーファやヘッセン＝カッセルへの供与金に関する18世紀前半イギリス議会での議論

—イギリスとハノーファの同君連合を検討する事例として」

13:20-13:30 保谷朋子（日本女子大学）

「18世紀におけるロンドンの膨張とその地誌的表象」

13:30-13:40 早津光子（明治大学・院）

「『政治遺言』にみられるマリア・テレシアの国制改革前のハプスブルク君主国の宮廷社会」

13:40-13:50 大塩量平（早稲田大学・院）

「18世紀後半ウィーンの宮廷劇場における高位貴族の観劇と社会経済・文化的背景

—ヨーゼフ2世期「国民劇場」の予約の分析を中心に—」

12:30-14:30 近世Ⅱ 司会：金澤周作（京都大学）

12:30-12:40 山田今日子（東北大学・院）

「レンブラントの東洋へのまなざし」

12:40-12:50 武田和久（早稲田大学高等研究所）

「スペイン領南米ラプラタ地域のイエズス会布教区における

グアラニ語系先住民に対する軍事訓練：近世スペイン軍事史との関連から」

12:50-13:00 日尾野裕一（早稲田大学・院）

「18世紀前半のブリテンの大西洋貿易における商人と奨励金制度

—海軍資材法による奨励金制度を事例に—」

13:00-13:10 小林和夫（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス）

「大西洋奴隷貿易とイギリス東インド会社—18世紀後半を中心に—」

13:10-13:20 青柳かおり（大分大学）

「18世紀イングランド国教会と奴隷制—海外福音伝道協会年次記念大会の説教を中心に—」

13:20-13:30 鹿野美枝（立教大学・院）

「ヘンリ・ダングスの影響力、1783-93年—18世紀イギリスのインド政策」

13:30-13:40 長峰樂（立教大学・院）

「18世紀イギリスの議会外活動におけるメディアの役割

—アメリカ独立戦争時における西インド委員会を事例として—」

13:40-13:50 大橋里見（専修大学）

「ロンドン・ジェネラル・ホールの設立：

1780年代末イギリス綿織物産業と「マーケティング戦略」」

13:50-14:00 増田久美子（駿河台大学）

「リベリアを描く女たち

—アンテベラム期米国の白人女性によるテキストと「アフリカ帰還」運動の喧伝—」

12:30-14:30 近代Ⅰ 司会：坂下史（東京女子大学）

12:30-12:40 楠田悠貴（東京大学・院）

「フランス革命における国王裁判の政治文化的意義

－ジャン=ポール・マラーの国王裁判演説を契機として」

12:40-12:50 板倉孝信（早稲田大学・院）

「英国における百日天下の戦費調達と戦時所得税の廃止」

12:50-13:00 小野寺瑤子（東京大学・院）

「フランス革命戦争期ロンドンの騎兵義勇団」

13:00-13:10 金崎邦彦（早稲田大学・院）

「フランス革命戦争・ナポレオン戦争期におけるロイヤル・ネイヴィーの強制徴募」

13:10-13:20 角田奈歩（日本学術振興会）

「18～19世紀転換期パリにおける衣服製造・流通構造－注文服・古着・既製服」

13:20-13:30 矢口啓朗（東北大学・院）

「ライン危機（1840年）を巡る国際関係」

13:30-13:40 正木慶介（エディンバラ大学・院）

「19世紀初頭イギリスのトーリ主義にみられる労働者階層に対する社会的包摂の試み

－保守系出版物の言説分析から－」

13:40-13:50 長野壮一（東京大学・院）

「ナポレオン3世による社会福祉政策とその思想背景－1864年の団結法を中心に－」

13:50-14:00 田村俊行（立教大学・院）

「性病医療の現場と伝染病法、1840～1889年

－英国の売春管理制度と外科医の関係を再検討するために」

12:30-14:30 近代Ⅱ 司会：大津留厚（神戸大学）

12:30-12:40 佐伯彩（奈良女子大学・院）

「19世紀後半ハプスブルク帝国とガリツィア」

12:40-12:50 鍵谷寛佑（関西学院大学・院）

「19世紀後半におけるイギリス競馬統括団体ジョッキー・クラブの権威確立
－アドミラル・ラウス時代を中心に－」

12:50-13:00 玉利泉（鹿児島県立古仁屋高等学校）

「選挙権は誰のものか？－19世紀英仏選挙制度史からみえてくること－」

13:00-13:10 清水領（フランス社会科学高等研究院）

「19世紀中盤のフランスにおけるユダヤ教地方間の差異」

13:10-13:20 北川涼太（岡山大学・院）

「海相チルダースによる海軍再編計画とイギリス帝国」

13:20-13:30 犬飼崇人（学習院大学・院）

「フランス第三共和政期における学校衛生：リヨンの初等学校を中心として」

13:30-13:40 山内由賀（京都大学・院）

「19世紀フランスの女子教育における宗教教育をめぐって」

13:40-13:50 内海咲（一橋大学・院）

「19世紀「消費都市」におけるファッションの受容
－ヴィクトリアン・サーヴァントと女主人の関係に着目して－」

13:50-14:00 鈴木周太郎（一橋大学）

「コルセットを着る女性、つくる女性
－ウスター・コルセット・カンパニーからみる20世紀転換期のジェンダー秩序」

12:30-14:30 現代 I 司会：池田嘉郎（東京大学）

12:30-12:40 土田映子（北海道大学）

「アメリカ合衆国における科学・技術と移民集団の文化表象：スウェーデン系移民を題材に」

12:40-12:50 佐下橋容代（一橋大学・院）

「真珠から見る日米関係

－19世紀末から開戦までのアメリカにおけるミキモト社の展開」

12:50-13:00 金澤宏明（明治大学）

「20世紀転換期の合衆国政治マンガの機能と役割

－島嶼領土他者表象の視覚パラダイム分析－」

13:00-13:10 大和久悌一郎（川村学園女子大学）

「第一次大戦末期のイギリスにおける労働政策

－シェフィールドにおける労働時間規制の試みから」

13:10-13:20 鈴木俊弘（一橋大学・院）

「記念のためにトリミングされる歴史

－米国の祝祭活動に潜行する入植表象と人種論の言説的交差について」

13:20-13:30 紀愛子（早稲田大学・院）

「ナチ体制期ドイツにおける「安楽死」作戦関係者たちの人物像」

13:30-13:40 菊地大悟（東京大学・院）

「戦後東ドイツにおけるヘルムート・フォン・ゲルラッハ協会（1948年～1953年）」

13:40-13:50 塚本遼平（慶應義塾大学・院）

「西ドイツにおけるドラッグ政策の展開

－1970年代後半～80年代初頭の麻薬法改正議論を中心に－」

12:30-14:30 現代Ⅱ 司会：浜井祐三子（北海道大学）

12:30-12:40 杵淵文夫（東北大学・院）

「世紀転換期ドイツにおける A.ザルトリウスの対アメリカ通商政策論」

12:40-12:50 門間卓也（東京大学・院）

「1930年代クロアチアにおけるファシズム組織ウスタシャのナショナリズム」

12:50-13:00 星野友里（早稲田大学・院）

「1939-43年 南ティロールにおける国籍選択結果と移住」

13:00-13:10 金泓權（大阪大学・院）

「派独韓国人看護婦の派遣過程 - 在独韓国人社会の黎明期(1957-1976)」

13:10-13:20 橋本泰奈（東京大学・院）

「戦後西ドイツの外国人労働者政策におけるナチ時代との制度・人的な連続性」

13:20-13:30 原田桃子（東北学院大学・院）

「1970年代イギリスにおける移民政策と「帝国からヨーロッパへ」の移行」

13:30-13:40 岡本宜高（ロンドン大学クイーン・メアリー校）

「キャラハン政権期のイギリス外交とヨーロッパ冷戦、1976-79年」

13:40-13:50 長谷川雄之（東北大学・院）

「ポスト共産主義国家・ロシア連邦における制度設計のプロセス

—国家安全保障政策決定機構を中心として—」